

(一般情報)

## 水稻新品種「粒すけ」現地検討会を開催！

～倒れにくく多収、美味しいお米の生産に向けて～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和2年9月1日発

農業事務所では、7月30日に、今年度から一般栽培が開始された水稻新品種「粒すけ」の栽培方法の普及を図るため、柏市内の水田で現地検討会を開催したところ、38名の参加がありました。当日は、「粒すけ」の品種特性や栽培管理のポイント、東葛飾における栽培普及展示ほの生育状況について紹介するとともに、昨年からの栽培普及展示ほを担当している生産者に感想を伺いました。さらに、斑点米カメムシ類及びジャンボタニシの防除や、飼料用米の推進に関する情報提供と併せ、特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の注意喚起を行いました。参加者からは、「粒すけ」に適した省力的な施肥方法等、継続的な勉強会を実施してほしいとの意見があり、「粒すけ」への関心の高さが伺えました。

農業事務所では、「粒すけ」を栽培する生産者が増えるよう、引き続き生産者への技術指導を進めていきます。



「粒すけ」、「コシヒカリ」の株を抜き取り  
草丈の違いを確認しました



熱心に耳を傾ける参加者